

世界200以上の国・地域で実施されている国際基準の英語能力測定試験

TOEFL iBT®テスト概要

TOEFL®テストは、米国非営利教育団体ETSが1964年に英語を母語としない人々を対象に開発した世界基準の英語能力測定試験で、これまでに世界で延べ3,500万人以上、日本では2000年のCBTテスト導入以降、受験者は100万人を超えています。
現在TOEFL iBT®テストのスコアは、160か国、11,500以上の大学・大学院、その他の機関で、入学選考、奨学金選考、海外派遣選考や単位認定など様々な目的における英語力の証明として活用されています。

5つの特徴

TOEFL iBT®テスト ～世界で学べる英語力のスタンダード～

01



世界中で
実績のある
英語能力測定試験

02



英語で学ぶ力を
測るアカデミック
な内容

03



様々な目的で
グローバルに
活用できるスコア

04



コンピュータ受験による
信頼性の高い
テストと公平な採点

05



CEFRに連動した
スコア型
4技能テスト

テスト構成

- ✓セクション : Reading, Listening, Speaking, Writingの4セクション
- ✓テスト時間 : 約3時間
- ✓スコア : 0-120 (各セクション0-30)

Reading*
54 - 72分

アカデミックな長文読解問題 (1パッセージ約700語)
・自然科学、社会科学、芸術など幅広い分野の教養科目を題材に出題

問題数 : 3または4パッセージ
設問数 : 各10問

Listening*
41 - 57分

講義と会話の2種類で構成
・幅広い分野の教養科目を題材とした講義
・教授と学生、大学職員と学生、学生同士などの会話

【講義】問題数 : 3または4題
設問数 : 各6問
【会話】問題数 : 2または3題
設問数 : 各5問

休憩 10分

Speaking
17分

マイクを通して
回答音声を録音

【Independent task】
身近なトピックについて意見を述べる

【Integrated tasks】
読んだり聞いたりした内容を要約して話す

問題数 : 1問
Speak
準備15秒 解答45秒

問題数 : 3問
1) Read + Listen → Speak 2問
準備30秒 解答60秒
2) Listen → Speak 1問
準備20秒 解答60秒

Writing
50分
タイピングで回答

【Integrated task】
読んで聞いた内容を要約してエッセイ形式で書く
(150~225 words)

【Independent task】
設問に対する自分の意見を書く
(300 words以上)

問題数 : 1問
Read+Listen → Write
時間 : 20分

問題数 : 1問
Write
時間 : 30分

* ReadingもしくはListeningセクションでは、スコアに加算されないサンプル問題が含まれる場合があります。これらの設問は、ETSが毎回同程度の基準でスコアを評価できるようテストを管理したり、新しいタイプの設問が実際のテスト環境でどのように機能するかを確認するためのものです。

スコア

スコアの目安：アメリカ留学の場合

大学学部 スコア61以上 大学院 スコア79-80以上

必要なスコアは大学や専攻分野により異なるので、詳しくは各大学の公式ウェブサイトからお調べください。

✓スコアスケール	各セクション0-30、総合スコア0-120
✓スコアの有効期間	テスト日から2年間
✓スコアの種類	・Test Dateスコア テスト日の試験結果 ・MyBest™スコア 受験者の過去2年間の有効な全てのTOEFL iBTテストスコアから各セクションの最も高いスコアを組み合わせたスコアのこと。2019年8月1日以降に発行される全てのTOEFL iBTテストスコアレポートには、毎回、各テスト日の試験結果（Test Dateスコア）とMyBestスコアが自動的に掲載される。
✓スコアレポートの種類	・Official Score Reports 米国ETSから志望大学・団体に直接送付される公式スコアレポート ・Test Taker Score Report 受験者用控えのスコアレポート
✓スコアの確認	テスト日から約6日後にMy TOEFL Home上で確認 ※テスト終了時にReading・Listeningスコア(非公式)確認可
✓PDF版のダウンロード	テスト日から約8日後にMy TOEFL Home上でTest Taker Score ReportのPDF版のダウンロードが可能

TOEFL iBTテストとCEFRとの関連性（CEFR＝ヨーロッパ言語共通参照枠）

CEFR level	Reading (0-30)	Listening (0-30)	Speaking (0-30)	Writing (0-30)	Total (0-120)
C2	29	28	28	29	114
C1	24	22	25	24	95
B2	18	17	20	17	72
B1	4	9	16	13	42
A2	n/a	n/a	10	7	n/a

✓Performance Descriptors for the TOEFL iBT® test それぞれのスコアで求められる力をチェック！

レベルごとに受験者に期待される知識、スキル、能力は異なります。目標のスコアを獲得する上で何が足りていないのか、調べてみましょう。



引用元：https://www.ets.org/toefl/score-users/scores-admissions/compar

受験日・会場

会場受験の場合

全国各地の会場で実施されています(年間50日以上、土日に実施)。試験開始時間は、午前中が多いですが、土曜日は午後も行われており、午前午後合わせると年間で計80回以上実施されています。

自宅受験(TOEFL iBT® Home Edition)の場合

週4日、24時間体制(開始時間は空き状況に応じて10分毎の開始枠から受験者が自由に選択可)で実施されています。会場受験・自宅受験ともに受験日の約6か月前より受験申込が可能です。

受験日・会場の検索



受験料

会場受験・自宅受験ともに日本での受験料はUS\$245です。その他、Late Registrationやテスト日・会場変更などには費用が発生します。

申込手順

1. Bulletin (受験要綱) の確認

Bulletinは全世界共通です。受験者は必ず内容を確認してください。

Bulletin

2. 身分証明書 (ID) の準備

原則として、**テスト当日に有効期限内のパスポート原本**が必要です。パスポート以外の身分証明書としては、氏名・顔写真・署名が入った個人番号(マイナンバー)カード、運転免許証も有効です。



3. ETSアカウントの作成

ETSアカウントを作成します。アカウント作成後、会場・日程の確認、受験申込、申込テスト日の変更、キャンセル、テスト終了後のスコア確認ができます。

4. 【自宅受験者のみ】 使用機器と受験環境の準備

テスト当日に使用予定の機器と受験環境が、要件を満たしていることを確認します。要件をクリアしないまま自宅受験に臨んでしまうと、テスト開始時や受験中にエラーやトラブルが発生し、テストが最後まで完了しない場合があります。



準備すること

- ・デスクトップまたはノートパソコンを使用(タブレットまたはモバイルデバイスは使用不可)
- ・OSは、Windows 10、Mac OS X 10.15推奨
- ・ブラウザは最新版にアップデートしたGoogle Chrome推奨
- ・スピーカー・マイク・カメラはそれぞれPC内蔵(Built-in)または外付けタイプを使用(ヘッドセット、イヤホンは使用不可)
- ・上記の他、CPU、webcam、RAM、画面解像度等の要件あり
- ・受験環境の詳細は左のQRコードからご確認いただけます

5. 受験申込

ETSアカウントにログインして、希望の受験日、会場を探し、選択します。個人情報を入力し、クレジットカードまたはPayPalで受験料を支払います。

6. スコアレポートの送付手続

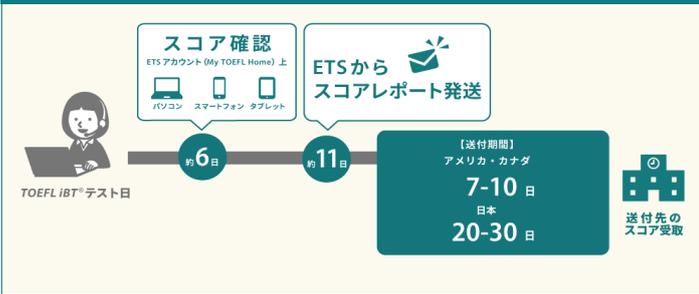
テスト前日の午後10時までに手続きをした場合、Official Score Reportsは4校(通)分、自宅へのTest Taker Score Report1通分を無料配送としてお申し込みできます。

スコアレポートの送付

スコアレポートは、事前に送付手続きをしている場合はテスト日の約11日後、有料（オンライン手続）の場合は、依頼受理後3～5営業日以内に米国ETSより発送されます。事前に送付手続きをしている場合でも、テスト日から受領まで通常配送で4～6週間かかります。

無料送付

テスト前日の午後10時までに手続した場合、Official Score Reports は4通、Test Taker Score Reportは1通まで無料で送付可能



有料送付

テスト受験後～スコア有効期間内（テスト日から2年間）であれば、何度でも送付可能（1通につきUS\$20）



Express Shippingについて（Test Taker Score Reportのみ適用）

Express Shippingとは、スコアの採点～発送～到着まで、通常は「4～6週間」かかるところを「約2週間」に短縮できる有料速達サービスです。

【会場受験の方】前日～受験日の流れ

1. 受験日の前日

2. 受験日

3. テスト受験

My TOEFL Homeにログインし、テスト開始時間・テスト会場を再確認

✓当日の持参物

- ・規定の身分証明書（ID）
- ・予約番号（Appointment Number）
- ・テスト前日にMy TOEFL Homeの「今後のテスト（Upcoming Tests）」で確認した内容を印刷したもの

✓テスト開始時間の30分前にテスト会場に到着

遅刻した場合は受験できず、受験料の返金もありません。

✓チェックイン

身分証明書（ID）の確認、写真撮影、誓約書への署名、セキュリティチェックなどが行われます。テスト当日に規定のIDを提示できない場合、受験はできません。

✓テスト開始直前に指定の席へ案内

テスト会場内へのID以外の持込は原則として禁止されています。

✓注意事項

- ・QWERTY配列の米国式キーボードを使用
- ・全セクションでメモをとることが可能
- ・問題が起きた場合は試験監督官に知らせる
- ・テスト終了時にReading・Listeningセクションスコア（非公式）が表示される
- ・テスト終了時に画面右上の「Cancel Scores」を選択すると、スコアの通知、スコアレポートの発行が行われないので注意する
- ・15歳以下の受験者は保護者または18歳以上の大人の付き添いを推奨

会場受験の流れ



【自宅受験の方】前日～受験日の流れ

1. 受験日の前日

2. 受験日

3. テスト受験

✓受験日の前日までにすること

- ① WindowsあるいはMac版のテストブラウザのダウンロード
- ② ChromeあるいはFirefoxのProctorU Extensionのダウンロード
- ③ ProctorUシステムチェックの実施
- ④ 受験要綱(Bulletin)冊子と、受験日の流れを動画で確認

自宅受験の流れ



✓受験前に必ずご確認ください

- ・静かで明るい部屋を利用し、部屋の全ての扉を閉める
- ・テストブラウザ以外のアプリ、Webページは全て閉じる
- ・テストで使用するPCのネット回線を他デバイスと共有しない
- ・受験に必要な身分証明書、ノートテイキングアイテム机の上に並べる
- ・腕時計、ヘッドセット、イヤホン、帽子、マスクは外す
- ・ドアホン(インターホン)の音を切っておく
- ・ペットを飼っている方、同居者がいる方は試験中の部屋に入らないようにする など

受験前の注意事項



✓チェックイン(20分程度)

試験開始時間から12分以内にテストを開始するリンクをクリックし、オンライン試験監督者と英語でコミュニケーションをとりながら本人確認、接続確認、受験環境の確認などを行う

✓テスト中

試験監督者がビデオカメラを介して受験者とコンピュータの画面を監視し、全てのテスト手順に従っていることを確認します。Listeningセクション後の10分間休憩は、席を離れることが可能ですが、時間通りに席に戻らない場合、テストはキャンセルされ、返金もありません。受験が終わったら、チャットボックスを通じて試験監督者に試験が終了したことを知らせてください。



TOEFL iBT® テスト準備

無料の講座やサンプル問題は、独学でスコアを目指す学習者の強い味方!

① 無料オンライン講座(MOOC)

ハーバード大学とマサチューセッツ工科大学が創設した非営利のオンライン学習ウェブサイトedX上で開講されているTOEFL iBT®テスト無料講座です。6週間分のコンテンツを自分の好きなペースで進めることができ、各セクションの説明や過去問を確認します。ビデオ、解説付きサンプル問題、小テスト、掲示板なども使用でき、インタラクティブな学びの場となっています。



② Free Practice Test

米国ETSが公開している4セクションの過去問が収録された無料教材です。ダウンロード不要で全てPC上で解き進めることができます。Reading, Listeningのセクションは回答後に正解を確認でき、SpeakingとWritingのセクションではサンプル解答を聞く/読むことができますので、スコアアップのヒントとなるでしょう。



③ Practice Sets

こちらも、②同様に米国ETSが公開している過去問を利用した各セクションの対策無料教材です。見た目は実際のテスト画面とは異なりますが(画像がない、Speaking音声がないなど)実際のテストで出題される問題や解答選択肢の種類や内容に慣れることができます。



④ Improve Your Skills

セクション別にスコアを伸ばすための具体的なアドバイスが書かれています。一つ一つのアドバイスをただ読むだけでなく、特に自分が苦手な分野が何なのかハイライトをつけてまとめておき、自分なりの解決方法を書き出して、集中的に取り組んでみましょう。講座を受けたり、過去問を解くよりは時間のかかるプロセスですが、自分の得意・不得意を正しく把握することで、伸びしろがどこにあるのか見つけられるかもしれません。



TOEFL iBT®テスト公式教材 www.officialtestprep.jp



ETS公認ガイド TOEFL iBT®

- TOEFL iBTテストと同形式の問題
- 各セクションの出題内容
- 日本語解説付問題
- 全問題・解答・解説の日本語訳
- スピーキング・ライティングセクションの解答例など

好評の公式ガイド日本語版です



TOEFL iBT® Complete Practice Test

- 唯一のTOEFL iBTテストと同形式の問題
- TOEFL iBTテストで実際に出題された過去問題
- インターネット接続のパソコンがあれば、いつでもどこでもできる
- 全セクション収録
- 終了後、全セクションのスコアが見られる

公式オンライン模試で過去問対策を!

TOEFL®テスト公式教材ショップ

TOEFL iBTテストの過去問題で構成されている公式オンライン模試「TOEFL iBT® Complete Practice Test」を日本で唯一取り扱っています。その他、多数のETS公式教材を取り揃え、日本語での詳しい製品紹介に加え、ユーザーレビュー、FAQなどを掲載しています。



▲詳細・申込はこちら

初受験者対象キャンペーン 受験応援 8週間サポート

ETS Japanでは初めてのTOEFL iBT®テストを受験される方に、受験支援メール配信とTOEFL iBT® Test Prep Plannerの無料配送を行っています。対策などに通わず、独学で勉強されている皆さん、「TOEFLの勉強は孤独・心配・不安...」と感じていませんか? 完全無料の8週間サポートを通じて、学習計画の立て方や、勉強に必要な情報の探し方をお手伝いします。目標スコア獲得に向けて受験日まで一緒に進んでいきましょう!

特典① 受験応援メールの定期配信(週1回) 特典② The TOEFL iBT® Test Prep Planner冊子の無料配送(月間発送数上限あり。先着順)

TOEFLテスト日本事務局Webサイト www.toefl-ibt.jp

受験者・学習者専用サイト

テストの特徴・構成から受験申込手順、申込後から受験日スコア情報等、受験者が知りたい情報を時系列に掲載



TOEFL® Web Magazine

毎月発行しているWebマガジン。新着の受験体験レポートや、ETS公認トレーナーの学習・スコアアップのヒントや具体的アドバイスを紹介



LINE (日本語)
@toefl



Facebook (英語)
@TOEFL



Twitter (日本語)
@TOEFL_mag



Instagram (英語)
toefl_official



YouTube
TOEFLテスト
日本事務局



YouTube
TOEFLテスト
公式教材ショップ

本資料はTOEFL iBTテストの概要のみ記載しています。また掲載内容は予告無しに変更されることがあります。

最新情報はTOEFLテスト公式Webサイト(www.ets.org/jp/toefl)で必ずご確認ください。

ETS、ETSロゴ、TOEFL、TOEFL iBT、TOEFL ITPおよびCriterionはETSの登録商標であり、ETS JapanはETSの許諾の下に使用しています。

TOEFL iBT®テストに関する問合せ先



JAPAN
A subsidiary of ETS, the creator of the TOEFL® test

[TOEFL®テスト日本事務局] ETS Japan合同会社
www.toefl-ibt.jp